

【参考資料 2】

共通する論点の集中的検討について

1. 目的と進め方

少人数で集中した議論を行い、これまでに見逃されていた論点や幅広い視野からの考え、意見を求めることを目的とした。

懇談会の構成員に加え、学生や様々な分野の有識者などが少人数のグループ(6人程度)に分かれ、倫理、法、経済、社会、教育の各分野について順にブレインストーミング的な意見出しと議論を行った。他のグループの意見についても知る機会をつくり、同意する意見に投票を行った。

2. 日時および場所

2016年10月13日(木) 13:00 16:05

中央合同庁舎第8号館627会議室

3. 参加者

構成員：原山優子、江間有沙、鈴木晶子、橋本和夫、若田部昌澄

学生：9名

有識者：志水正敏(日本科学未来館)、丸山宏(プリファードネットワークス)

4. 様子



原山議員から冒頭挨拶



他のグループの議論への投票の様子

5. アイデア抜粋

倫理

兵器として AI を利用してもよいか。人の尊厳やプライバシーを著しく侵害してはいけない。生産物の価値については議論自体が無駄。AI 製と明示することに意味はない。全体的に問題意識が遅い。議論するよりも早く倫理観は変わる。

法

法律の運用などにスピード感が必要。

AI を入れない特区。

プライバシーはそんなに重要なのか？

日本は情報を活用して、流用、変化させて新しい価値を作り出すのが得意。AI はそれを加速する。

AI 時代の成人の概念は、能力、AI を使える能力で決まる・判定する。

労働法は仕事をしない・させないように作られている。仕事をもっとできる法律が必要。

経済

仕事量は思ったよりも減らない。

仕事とは何かの再定義

新規に生まれる雇用は何か？

限界費用がゼロになるので、所有が豊かさではなくなる。GDP は下がるが、それと豊かさとは異なるものになる。豊かさの再定義が必要。

社会

知らなくても不利益を被らない仕組み・セーフティネット

どんどん普及して、誰もが使えるようになるはず。心配はいらない。

データは個人として統合されない限りいくら使われてもかまわない。

AI だからこそ、機械だからこそプライバシーが気にならない。ロボット介護。

AI なしでは生きられないのは、問題ない。

教育

外国語教育はもういらぬのか、子供の概念形成のための語学なのか。

知識を内部化することが、活用になる。

統計リテラシ、確率のリテラシが必要。

労働者になるための教育ではなく、やりたいことをみつけるための教育。

リベラルアーツが一層重要。自分探しばかりになるかも。

教育のゴールを個人ごとに変えるのは格差につながるのか？

個人最適化して、ゴールも変えた教育にも魅力がある。自分の才能を引き出したい。

6. アイデア概観

A到王 倫理

汎用形AI

AIに身体を
与えてもいい？

人間の定義？

子育てにおける
感性の育み方

人工知能に
感情はいいかい？

人工知能に
「権利」はあるか？

人間 ↔ 人工知能
と
人種差別

人間と人工知能
に侵されて困る
ことは何か？

指示待ちAI？
（主権のありか？）

人間も過去のデータ
脳で処理して行動する
という点でAIと何が
異なる？



一方で人工知能
との信頼関係性が
必要

人工知能が
人事評価を
してもよいのか？

新しい倫理は
どう生まれるのか？

倫理観が不向き
は？

倫理の変化を
実証的に研究できるか？

倫理上の
基本的な問題
は変わらないのでは

特化型AI

特化型 AI では
人間視点の差は
起らないのでは？

AIが人間を

AIが数学の問題
解いたらそれは
だれの業績か？

順序づけしていい？

（特許権）

ヒューマンな
本質に重要？

人間能力の
拡張は起こっている

未来は
どうなるか？

人工知能に
恋をする。

AIと結婚して
誰がどんな
倫理感破えか？

AIをさばく
法得が必要

汎用形AI

特化型AI

A. 法的観点

不確定性の
(中見)
とんた高くなる

裁判官に求め
ていく仕組み

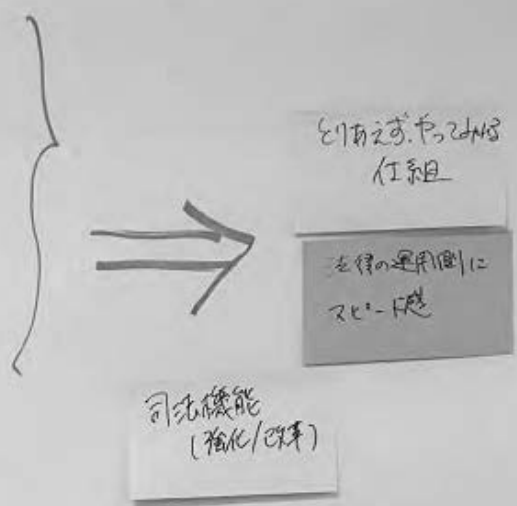
問: 法律の適用は
如何に保証されるか?
A: VOT Law (契約)
等由

法 → Alternative?

Open & Close の
意味を説明し、戦略的
側面と法的側面
の両方を示す

テクノロジーの進歩
と立派な
スタート

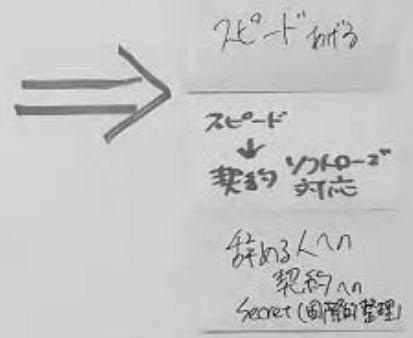
顧客データ
「長年の蓄積」
の価値?



テクノロジーと財産
の区別

テクノロジー
がもたらす
新しい価値

IT-スタート
の共有の価値



責任:
テクノロジー
→ データ依存
説明責任
テクノロジー
→ データ依存
テクノロジーの責任は
完全に
テクノロジー側か?
誰の責任 → SP

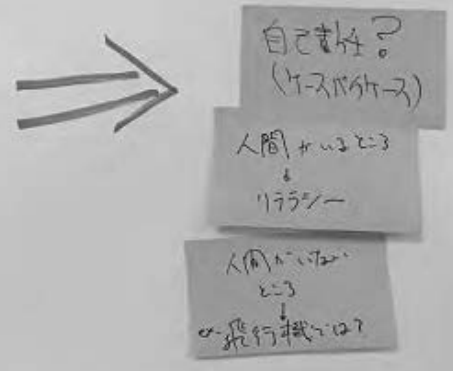
利益とリスク
テクノロジー
の両方
テクノロジーの
両方?

Incomplete
Contract
(テクノロジー側)

テクノロジー
側の責任問題

民主主義

テクノロジーの
説明責任
テクノロジー
の責任
意思決定と責任
(自由: 誰か?)
ex. 環境テクノロジー



C 社会

人工知能が
中心となる社会
(人間の権利の) 可能性

使いたくないけど
使わなければならない
AI PC

人工知能に慣れる
広範囲にわたって
行わなければならない

社会人に対する
リテラシー教育は?

理想は
AI → 自律型AI
→ 自律型AI

AIリテラシーは
20世紀に生きたか?
リテラシー
を身につけて
生き残るための

本当にAIが
いいのだろうか?

AIの道徳性
を問うべき

AIは
過剰に監視する
結果 都市部は?

この町に徹底的
にAIを活用する
わけ

News. = 公平
報道もAIで

AIが参入する
社会作り
国が率先してAIを
使う

よく知られた人ESに
囲まれたAI
AI → 死生観
のあり

ネット情報の操作
情報一元化
不透明なAI
再来

AI時代の
パラダイム構築
建国?

デジタル
情報の流通
(情報の流通が
進む社会)

インターネットで
通信が
進む社会
インターネット
社会

